

会期中の併催イベント

会長講演・表彰式

日時：3月28日(土) 13時30分～15時10分
会場：S1会場(13号館2階1325教室)

プログラム

13:30- 会長講演
「Chemistry-based Innovation—the Key to Japan Revitalization—」
平成26,27年度会長 榊原 定征

14:10- 表彰式

スプリングコンサート2015

日時：3月28日(土) 16時～17時
会場：S1会場(13号館2階1325教室)

化学オーケストラ：

日本化学会会員を中心に広く化学関係者によって2002年に結成された音楽団体です。例年、日本化学会春季年会の「スプリングコンサート」で演奏を披露するほか、秋の「千代田区オーケストラフェスティバル」への参加も続けています(2015年は10月24日(土)、大手町・日経ホールにて開催)。今年12月には環太平洋国際化学会議での演奏も予定しています。

今回の「スプリングコンサート」では、プロ指揮者のタクトの下、前半は「ワルツ王」J.シュトラウスⅡのポルカとワルツを、メインはベートーベンの作品の中でもひとときわ若々しい作風の交響曲にてお楽しみいただきます。いずれも春にふさわしく、明るく爽やかな曲目です。

プログラム

指揮：宮野谷義傑(オーケストラトウキョウ音楽監督)
曲目：J.シュトラウスⅡ/ポルカ「トリッチ・トラッチ・ポルカ」、同/ワルツ「南国のばら」、ベートーベン/交響曲第1番(全4楽章)
参加費：無料
問合せ先：日本化学会事務局 保倉光邦
E-mail: hokura@chemistry.or.jp
<http://homepage3.nifty.com/upward/orchestra/>

懇親会

日時：3月28日(土) 18時～21時
会場：ファラデーホール 2階

今回の懇親会では世代を超えて各界各層の懇談の場とするべくより実質的な企画となっております。先生方におかれましては学生の参加費は低く抑えておりますので、ぜひお誘い合わせの上ご参加いただけますと幸いです。

参加費：一般6,000円、学生2,000円
申込方法：年会会場内の総合受付にてお申し込み下さい。

ATP交流会

日時：3月26日(木) 17時30分～19時
会場：ファラデーホール 2階

ATP交流会では、気軽に立ち寄れる出会いと交流の場を、年会参加者の皆様に提供します。ATPセッションのオーガナイザーや講師、JACI特別企画の講師やパネラーも多数参加!産学官の研究者や学生の皆様には、face-to-face交流の願ってもないチャンス

です。アルコール、ソフトドリンク、軽食とともに、素敵なプレゼント抽選会などお楽しみも盛り沢山!是非お誘い合わせてATP交流会へ!

参加費：一般1,000円、学生無料
申込方法：年会参加者はどなたでも参加できます。事前申込は要りませんので、直接会場へお越し下さい。
問合せ先：日本化学会 企画部 河瀬/白石
電話(03)3292-6163
E-mail: sangaku@chemistry.or.jp

Chem-Station イブニングミキサー

日時：3月27日(金) 18時～20時
会場：ファラデーホール 2階

学生や博士研究員を中心とする若手研究者や留学生の方に交流の場をChem-Stationより提供いたします。

※詳細はWEB(<http://www.chem-station.com>)をご覧ください。
参加費：無料(※飲物は参加者が購入するスタイル)
申込方法：年会参加者はどなたでも参加できます。事前申込は要りませんので、直接会場へお越し下さい。
問合せ先：日本化学会 企画部 年会係
電話(03)3292-6163
E-mail: nenkai@chemistry.or.jp

なぜなに 化学クイズショー&実験教室

主催：日本化学会 クイズショー委員会
日時：3月29日(日) 13時30分～16時
会場：S1会場(13号館2階1325教室)

小学校3年生以上を対象とした【クイズショー+実験教室】を開催いたします。

プログラム
13:30-14:30 クイズショー
14:30-14:50 休憩、移動
14:50-16:00 実験教室
※時刻等は変更になる場合があります。詳細はWEBをご覧ください。
URL：<http://www.csj.jp/nenkai/95haru/index.html>
参加費：無料
申込方法：事前申込制。下記サイトよりお申込下さい。
<https://event.csj.jp/view.php?id=67329>
問合せ先：日本化学会 企画部 大倉
電話(03)3292-6164
E-mail: ohkura@chemistry.or.jp

日本大学理工学部・ 先端研究施設見学会

実施予定日：3月27日(金)、28日(土)

日本大学理工学部船橋キャンパスの最先端科学研究を推進するための実験施設・設備などを見学いたします。

※詳細はWEB(<http://www.csj.jp/nenkai/95haru/5-1.html>)をご覧ください。
参加費：無料
申込方法：年会参加者はどなたでも参加できます。事前申込は要りませんので、当日、集合場所へ直接お越し下さい。※先着50名
問合せ先：日本化学会 企画部 年会係
電話(03)3292-6163
E-mail: nenkai@chemistry.or.jp

市民公開講座 化学の匠たち～情熱と挑戦～

日時：3月28日(土) 13時30分～17時
会場：S2会場 (13号館2階1326教室)

春季年会実行委員会では、一般市民の方々を対象とする恒例の「市民公開講座」を下記の内容で企画いたしました。今回は市民の方々の生活に密接に関連した身近な話題を、専門の先生方にやさしくお話していただきます。どの先生もそれぞれの分野でご活躍の著名な先生方ですので、十分楽しんでいただける半日になると思います。奮ってご参加下さい。

プログラム

13:30- 細胞を元気にする材料―再生医療の実現のために―(京大再生医科研) 田畑 泰彦
14:20- クモの糸のミステリー (奈良医大医学部) 大崎 茂芳
15:20- フォトニクスポリマーとファンダメンタルズ (慶大院理工) 小池 康博
16:10- はやぶさ1号2号の深宇宙大航海 (JAXA) 國中 均
参加費：無料
申込方法：事前申込不要。当日会場にて受付。
問合せ先：日本化学会 企画部 年会係
電話(03)3292-6163
E-mail: nenkai@chemistry.or.jp

付設展示会

主催：日本化学会
協力：(株)化学工業日報社
後援：一般社団法人日本科学機器協会・一般社団法人日本分析機器工業会・日本薬科機器協会・一般社団法人日本試薬協会
日時：3月26日(木)～28日(土) 10時～17時
会場：日本大学理工学部 理工スポーツホール
参加費：無料
出展社：(2月6日現在)
IOP 英国物理学会 出版局、(株)アイシス、朝日分光(株)、アジレント・テクノロジー(株)、アステック(株)、American Chemical Society、(株)イーシーフロンティア、Wavefunction, Inc.、HPC システムズ(株)、(株)ATR、(有)エル・エイソフト、エルゼビア・ジャパン(株)、大塚電子(株)、オプトシリウス(株)、独立行政法人科学技術振興機構、(株)化学工業日報社、一般社団法人化学情報協会、(株)化学同人、カクタス・コミュニケーションズ(株)、関東化学(株)、キーサイト・テクノロジー合同会社、(有)桐山製作所、(株)グローブボックス・ジャパン、(株)ケー・エヌ・エフ・ジャパン、公益財団法人高輝度光科学研究センター、(株)講談社、コスモ・バイオ(株)、コンプレックス(株)、サーモフィッシュャーサイエンティフィック(株)、サイエンスソリューションズ(株)、(株)サイダ・FDS、CEM Japan(株)、(株)ジェイ・サイエンス・ラボ、JPK インストルメンツ AG、シグマ アルドリッチ ジャパン合同会社、国立大学法人静岡大学、システム・インストルメンツ(株)、(株)システムハウス・サンライズ、柴田科学(株)、(株)島津製作所、ジャパンハイテック(株)、シュプリンガー・ジャパン(株)、シュレーディング(株)、純正化学(株)、昭光サイエンティフィック(株)、(株)西部技研、(株)セントラル科学貿易、(株)ダイセル、田中貴金属グループ、Taylor & Francis Group/CCR Press、(株)東京インストルメンツ/(株)ユニコ、(株)東京化学同人、東京化成工業(株)、中村科学器械工業(株)、(株)中村超硬、中山商事(株)、ナカライテック(株)、公益社団法人日本化学会 学術情報部、公益社団法人日本化学会 会員委員会、公益社団法人日本技術士会 化学部会、日本製紙クレシア(株)、日本電子(株)FS事業部、日本電子(株)グローバル営業推進本部、日本分光(株)、日本分析工業(株)、(株)パーキンエルマー・ジャパン、バイオタージ・ジャパン(株)、(株)パキユブランドサイエンティフィック ジャパン、浜松ホトニクス(株)、ピー・エー・エス(株)、ヒドラス化学(株)、兵庫県立大学リーディング大学院、富士通(株)、(株)藤原製作所、独立行政法人放射線医学総合研究所、北海道大学 同位体顕微鏡システム、丸善(株)卸営業部、丸善出版(株)、文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム、山善(株)、(株)UNICO、ユラボジャパン(株)、(株)ライトストーン、(株)変化システム、ロイヤルソサエティー・オブ・ケミストリー、(株)ワイエムシィ、ワイリー・ジャパン、和光純薬工業(株)、渡辺化学工業(株)

天然物化学研究の最前線： 生合成とケミカルバイオロジーの 新展開

主催：日本化学会学術研究活性化委員会
共催または後援：新学術領域研究“生合成マシナリー”総括班；“天然物ケミカルバイオロジー”総括班
日時：3月26日(木) 13時30分～16時55分
会場：S8会場 (14号館3階1433教室)

生物が作り出す極めて多様で、優れた生物活性を持つ天然物は、多くの有機化学者を魅了してやまない。現在、ゲノム情報など膨大なオミクスデータが蓄積し、酵素触媒を自在に操って天然物を合成する手法が開発されている。また合成化合物を中心に展開されてきたケミカルバイオロジーも、細胞内で標的分子と作用するように進化してきた天然物のポテンシャルが、再評価されている。そこで現在推進されている新学術領域研究“生合成マシナリー”と“天然物ケミカルバイオロジー”を牽引するフロントランナーが、天然物を創出する精妙な仕組みの解明と切れ味鋭い生物活性を有する天然物をプローブとした研究展開について最新のデータを提供し、今後展開される関連研究を展望する。

プログラム

座長 深瀬浩一 (阪大院理)
13:30-13:35 企画説明 (東工大理工) 江口 正
13:35-14:00 放線菌二次代謝産物の生合成に関与する特異な酵素の反応機構解析 (東工大理工) 江口 正
14:00-14:25 生物のゲノム情報を活用した有用天然物生合成機構の解明および生物合成 (静岡県大院薬) 渡辺 賢二
座長 北 将樹 (筑波大院理)
14:25-14:50 複雑骨格天然物の生合成マシナリーの解明 (東大院薬) 阿部 郁朗
15:15-15:40 テルペン合成酵素は細菌に広く分布している (北里大生命研) 池田 治生
座長 上田 実 (東北大院理)
15:40-16:05 海洋マクロリド天然物の全合成とケミカルバイオロジー (東北大生命) 不破 春彦
16:05-16:30 天然物ケミカルバイオロジーを指向した複雑骨格天然物の全合成 (東大院薬) 井上 将行
16:30-16:55 先導的天然物ケミカルバイオロジー：表現型スクリーニングと標的探索・同定 (京大院薬) 掛谷 秀昭
質疑応答と総括 (東北大院理) 上田 実
参加費：無料。希望者には「第2次先端ウオッチング調査報告書」を1,000円で配布。
申込方法：当日直接会場にお越し下さい。
問合せ先：日本化学会 企画部 美園 康宏
電話(03)3292-6163
E-mail: misono@chemistry.or.jp

CSJジャーナルフォーラム 「ジャーナルへの投稿を考える」

主催：日本化学会
協力：トムソン・ロイター
日時：3月27日(金) 10時～11時40分
会場：S4会場 (14号館2階1422教室)

日本化学会が刊行するジャーナル2誌(BCSJ, CL)は国際的なビジビリティの向上に向けて様々な取り組みを行っている。本フォーラムでは両誌の編集委員長よりCSJジャーナルの変革に向けた取り組み、影響力のある論文を書くためのコツ、何がacceptとrejectを分けるのか等をジャーナル編集長の視点で議論する。また、2誌の引用情報等の解析に基づく客観的な理解、今後に向けた提案をトムソン・ロイターよりいただく予定である。後半では講演者等を囲み、フリーな質疑のできる場を提供できればと考えている。日頃からジャーナルを活用(講読、投稿)されている研究者、および投稿を考えている若手研究者の皆さんに是非参加いただきたい。

プログラム

10:00～10:20 はじめに (20分)

「日本化学会の2誌(BCSJ, CL)のリーディングジャーナルへの道」玉尾 皓平(ジャーナル戦略委員長)

10:20~11:20 講演(20分×3名)

①「良い論文を書こう！」

時任 宣博(BCSJ編集委員長)

②「化学会ジャーナルの役割と“見える化”」

塩谷 光彦(CL編集委員長)

③「研究成果を世界に向けてActiveに発信する」

波多野 薫(トムソン・ロイター)

11:20~11:40 フリーディスカッション

「高被引用論文筆者にその極意が聞ける！」

参加費：聴講無料

申込方法：事前申し込み不要。直接会場にお越し下さい。

問合せ先：日本化学会 学術情報部 鈴木 慎一

電話(03)3292-6165

E-mail: s-suzuki@chemistry.or.jp

第6回日英シンポジウム

主催：日本化学会(CSJ)

共催：英国王立化学会(RCS)

日時：3月27日(金) 9時30分~17時

会場：S5会場(14号館2階1423教室)

本シンポジウムは日本化学会の国際交流活動の一環として英国王立化学会と共同で開催している。これまでに、第1回を2007年3月第87春季年会(関大)にて開催、その後、第2回2008年9月(Belfast, UK)、第3回2010年7月(RSC, Burlington House, UK)、第4回2013年3月第93春季年会(立命館大)、第5回2014年7月、(Dublin, UK)で開催してきた。なお2010年7月に日英国際協力協定を締結し、その中にこのシンポジウムの開催が記されている。今回第6回目の開催となるシンポジウムを“AdvancedMeasurements for Chemistry”をテーマとし、日英各4~5名程度の化学者で行う。

プログラム

9:30- Opening Remarks (CEO; Royal Society of Chemistry) Robert Parker

9:40- Ultrafast Studies of Reactive Dynamics by 1 and 2D Spectroscopy (University of East Anglia) Stephen R. Meech

10:20- Femtosecond Time-Resolved Impulsive Stimulated Raman Spectroscopy of Complex Molecular Systems (RIKEN) Tahei Tahara

11:00- Break

11:10- Multiplexed and Quantitative Bioanalysis using Surface Enhanced Raman Spectroscopy (SERS) (University of Strathclyde) Karen Faulds

11:50- High-Speed Atomic Force Microscopy for Observation of Single-Molecule Dynamics (Kanazawa University) Takayuki Uchihashi

12:30- Lunch Break

13:40- Novel Strategies in Single Molecule Sensing (Imperial College London) Joshua B. Edel

14:20- Carrier Transport in Single Molecules (Osaka University) Hirokazu Tada

15:00- Break

15:10- New Analytical Tools for Aerosol Particles (Bristol University) Jonathan P. Reid

15:50- Chemical Evolution in Star and Planet Formation (The University of Tokyo) Nami Sakai

16:30- Closing Remarks (Executive Director; Chemical Society of Japan) Nobuyuki Kawashima

16:40- Signing Ceremony of MOU

参加費：聴講無料

申込方法：当日会場にて受付

問合せ先：日本化学会 企画部 稲田 恵美子

電話(03)3292-6163

E-mail: inada@chemistry.or.jp

第5回日中若手化学者フォーラム

主催：日本化学会(CSJ)

共催：中国化学会(CCS)

日時：3月27日(金) 10時~17時10分

会場：S6会場(14号館2階1424教室)

2009年3月に締結した『日中国際協力協定』に基づき、第1回を2010年アモイ(中国化学会年会)、第2回2012年中国化学会年会(四川大学)、第3回2013年93年会(名大)、第4回2014年中国化学会年会(北京大学)で開催。今回第5回目のフォーラムを、“Molecular Activation Directed toward Straightforward Organic Synthesis”をテーマに日中各5名程度の若手化学者で行う。将来の日中間ネットワークの基盤構築を目的として、若い世代が向き合い、サイエンスだけでなく、個人的な人間関係を構築しながら両国の理解を深める機会とする。

プログラム

10:00- Opening Remarks (北京大) Zhang-Jie Shi

10:10- One or Two Electron Redox, Radical Oxidative Coupling and Mechanism Revealed by Operando XAS, Raman, EPR, and IR (武漢大) Aiwen Lei

10:40- C-H and C-C Bond Cleavage by Using Group 9 Metal Complexes Possessing a Boron-Based Pincer Ligand (中央大理工) 山下 誠

11:10- C-N Bonds Construction Based on Nitrogen-Centered Radicals (東北師範大) Qian Zhang

11:40- Carboxylation of Unsaturated Hydrocarbons with CO₂ Catalyzed by Palladium Complexes Bearing a Group 14 Element-based Pincer Type Ligand (東工大院理) 鷹谷 絢

12:10- Highly Efficient Methodologies via Aerobic Oxygenation (北京大) Ning Jiao

12:40- Break 休憩

14:30- Directed C-H Bond Activation Using Iron Catalysis (東大院理) Laurean Ilies

15:00- Phosphine-Participated C-H Transformation (蘭州大) Shang-Dong Yang

15:30- A C-H Arylation/Ring Transformation Approach: Synthesis of Polyarylated Arenes and Natural Products (名大院理) 山口 潤一郎

16:00- Break Down the Complex to Make it Simple—Total Syntheses of Complex Molecules (南開大) Guangxin Liang

16:30- Cross-Coupling Reactions via Activation of Inert Carbon-Oxygen Bonds (阪大院工) 鷹巢 守

17:00- Closing Remarks (京大院工) 中尾 佳亮

参加費：聴講無料

申込方法：当日会場にて受付

問合せ先：日本化学会 企画部 稲田 恵美子

電話(03)3292-6163

E-mail: inada@chemistry.or.jp

第32回化学クラブ研究発表会

主催：日本化学会関東支部

後援：文部科学省

日時：3月27日(金)9時~17時(予定)

会場：SD会場(階段教室2階小教室)

SE会場(階段教室2階大教室)

SB会場(3号館4階341教室) ※午前のみ

P会場(理工スポーツホール) ※午後のみ

当支部では化学振興事業の一環として、中学校・高等学校の化学クラブや理科クラブの化学に関係ある研究成果の発表の場として、化学クラブ研究発表会を開催しており、今回、第32回を開催します。

プログラム

開始・終了時間およびプログラムは関東支部HP (<http://kanto.csj.jp/>)でご確認下さい。

参加費：無料

申込方法：当日会場にお越し下さい。

問合せ先：日本化学会 関東支部 化学クラブ係
電話(03)3292-6163
E-mail: kanto@chemistry.or.jp

第9回化学遺産市民公開講座

主催：日本化学会化学遺産委員会・化学史学会
共催：日本化学工業協会（予定）
日時：3月27日（金）13時30分～17時30分
会場：SB会場（3号館4階341教室）

化学遺産委員会では、平成21年度から化学関連の学術あるいは化学技術遺産の中で特に歴史的に高い価値を有する貴重な史料を認定する『化学遺産認定制度』を開始しこれまでの5回で28件をそれぞれ認定・顕彰した。平成26年度も前年度同様に化学遺産認定候補を一般市民・会員諸氏より公募するとともに、委員会でも認定候補として相応しいものを選定し、対象候補16件の調査・検証作業を行った。今回の市民公開講座では、本年度第6回化学遺産として認定予定の具体的内容を紹介する。

プログラム

司会：宮村 一夫（東理大）
13:30-13:40 開会挨拶（京大名誉）植村 榮
13:40-14:10 早稲田大学所蔵 宇田川榕菴化学関係資料（弘前大教育）東 徹
14:15-14:45 現存する日本最古の高圧油脂分解器（オートクレーブ）一石けん工業への貢献―（元ライオンケミカル）向山 恒治
14:50-15:20 工業用アルコール産業の発祥―昭和10年代にバイオ燃料であるとともにエチレン原料にもなっていた―（日本化学会フェロー）田島 慶三
15:40-16:10 Pioneer in Paint Industry～近代日本における塗料工業の発祥（日本ペイントホールディングス）金倉 顕博
16:15-16:45 日本の戦後復興・高度成長を支えた合成繊維ナイロンの発祥と足跡（東レ）永安 直人
16:45-17:00 開会挨拶（横国大名誉）伊藤 卓
参加費：無料。講演会資料代（予価）1,000円（当日徴収）。
申込方法：日本化学会化学遺産のページよりお申し込み下さい。当日参加もできます。
問合せ先：日本化学会 企画部 美園 康宏
電話(03)3292-6163
E-mail: misono@chemistry.or.jp

男女共同参画第15回シンポジウム 社会にはばたく、世界にはばたく、 あなたがリーダーになるために ～第3回女性化学者奨励賞 受賞者紹介～

主催：男女共同参画推進委員会
協賛：男女共同参画学協会連絡会
日時：3月27日（金）13時30分～17時30分
会場：SC会場（3号館4階342教室）

男女共同参画委員会では、毎年男女共同参画シンポジウムを開催し、女性研究者ならびに技術者の活躍増進および女子学生の進路選択や将来の活躍の支援のために、様々な共同参画支援制度やロールモデルの紹介、あるいは男女共同参画の課題についての議論を行っている。今回は、英国の例の紹介や、「世界一の研究をするには」という話題も含め、幅広い視点から職業人としての活躍の可能性を、学生や若手研究者の皆さんに紹介したい。

プログラム

13:30- 開会挨拶（会長）
13:40- 招待講演 “Sharing UK experience; new opportunities for working together”（仮）Elizabeth Hogben氏（駐日英国大使館）
14:10- 「日本化学会女性化学者奨励賞受賞者紹介」中條 善樹氏（京大院）
14:30- 「あなたがあなたの道を歩むために」相田 美砂子氏（広島大院）
15:00- 「ネオジム磁石の発明―なぜ世界一になれたのか」佐川

真人 氏（インターメタリックス）
15:30- 休憩
15:40- 「女性研究者のワークライフデザイン」菊地 あづさ氏（横国大院）
16:00- 「リーダーを目指そう！―ある若手研究者のワークライフ」郵次 智氏（名大院）
16:20- 「ダイバーシティの推進―働きがいのある職場を目指して」廣本 和彦氏（昭和電工）
16:40- 自由討論
17:10- 閉会挨拶
17:30- 懇親会 無料（学生歓迎）
参加費：無料
申込方法：事前申込不要。直接会場にお越し下さい。
問合せ先：日本化学会 学術情報部
電話(03)3292-6165
E-mail: danjo@chemistry.or.jp

ケミカルレコード・レクチャー The Chemical Record Lecture 2015

主催：日本化学会・Wiley-VCH
日時：3月28日（土）11時～11時50分
会場：S3会場（14号館2階1421教室）

日本の化学関係8学協会の雑誌として刊行した総合論文誌“The Chemical Record”は、2011年より日本化学会の雑誌としてリニューアルしました。Wiley-VCHとの本格的な提携によりインパクト・ファクターも着実に向上しております。山本尚編集委員長による編集体制の下、本年も年会時にTCR Lectureを開催いたしますので、多くの皆様のご参加をお願いいたします。

プログラム

Searching for Selective Reactions on Complex Molecular Scaffolds
Professor Scott J. Miller (Yale Univ.)
Chair: Professor Hisashi Yamamoto (Chubu Univ.)
参加費：無料（年会登録者に限る）
申込方法：事前申込み不要。直接会場にお越し下さい。
問合せ先：日本化学会 学術情報部 TCR係
電話(03)3292-6165
E-mail: tcr@chemistry.or.jp

環境・安全シンポジウム 「実験室安全と安全教育」

主催：日本化学会 環境安全推進委員会
日時：3月28日（土）13時30分～17時30分
会場：S3会場（14号館2階1421教室）

大学および研究施設における安全のレベルアップに向けた関係者の啓発および情報交換を目的として環境安全推進委員会主催のシンポジウムを開催する。安全レベルの向上において不可欠な、構成員の安全教育に注目しながら、大学や企業などの現状や取り組みなどについての講演を行うとともに、参加者も交えて意見・情報交換を行う。化学会年会という場を活用して、多くの関係者に参加いただき、有用な意見・情報交換の場としたい。

プログラム

座長 土橋 律（東京大学）
13:30-13:40 挨拶（環境安全推進委員会）土橋 律
13:40-14:10 大学の安全管理と安全教育その1（東京工業大学総合安全管理センター）小山 富士雄
14:10-14:40 大学の安全管理と安全教育その2（横浜国立大学安心・安全の科学教育研究センター）鈴木 雄二
14:40-15:10 大学の安全管理と安全教育その3（東京大学環境安全研究センター）辻 佳子
15:10-15:40 企業の研究室における安全管理と安全教育（旭化成ケミカルズ株式会社川崎製造所環境安全部）澤井 茂樹
15:40-16:20 総合討論
参加費：無料 希望者には別途資料を有料配布
申込方法：直接会場にお越し下さい。
問合せ先：日本化学会 企画部 美園 康宏

第22回化学教育フォーラム 新しい高等学校化学の 教育課程に向けて

主催：日本化学会 教育・普及部門
日時：3月28日(土) 13時30分～17時
会場：S4会場(14号館2階1422教室)

理数の新教育課程が3年目を迎え、高等学校3年まで完全移行した。高等学校理科の中では生物の内容が大きく様変わりし、化学も、「化学Ⅰ」「化学Ⅱ」から、「化学基礎」「化学」に科目名も変わり、教科書のボリュームも膨らんだ。これら教育課程の移行や教科書の改訂によって、高等学校での授業、大学入試の内容、学生を輩出する大学の教育内容などはどのように変化しようとしているのか。いろいろな観点でやりやすくなった点や、やりにくくなった点などを報告していただくとともに、相互に情報や意見を交換し、新しい教育課程の中での化学の在り方を探っていく。

プログラム

<13:30～13:45>

1. 開会の挨拶(教育・普及部門部門長)西原 寛

2. 趣旨説明

(化学教育フォーラム企画小委員会委員)松原 静郎

<13:45～15:45>

3. 新課程とはそもそも何を狙ったものなのか(仮題)

(東京大学名誉教授)下井 守

4. 高校現場では新教育課程にどう対応しているか(仮題)(東京都立小川高等学校教諭)永島 裕

5. 新しい観点では化学の授業(特に実験)をどう重視しているか(仮題)(大阪府立伯太高等学校)北野 賢一

6. 技術者や研究者を社会に輩出している大学では学生をどう育てているか(東京大学教授)村田 滋

<16:05～17:00>

7. パネルディスカッション

8. 閉会の挨拶(普及・交流委員会委員長)齊藤 幸一

参加費：無料

申込方法：事前申込不要。直接会場にお越し下さい。

問合せ先：日本化学会 企画部 大倉

電話(03)3292-6164

E-mail: ohkura@chemistry.or.jp

英語講演への第一歩をふみだそう！ 講演英語化支援ランチョンセミナー

主催：日本化学会戦略企画委員会

日時：3月26日(木) 12時30分～13時30分

3月27日(金) 12時30分～13時30分

会場：SA会場(2号館2階222A教室)

サイエンスがグローバル化している現在において、自分の研究の素晴らしさを理解してもらうためには英語は必須である。「英語が下手でも式、図があればわかる」と言う人もいるが、それは大きな間違いである。伝えたいことを正確に伝える、尋ねたいことを正確に尋ねる、その基本的なことができる英語力を身に付けなければ自分の研究を理解してもらうことはできない。そのスキルを磨こう。

講師：ジョナサンウッドワード先生(東大)(予定)

参加費：無料。簡単な軽食を用意します。

申込方法：先着50名。当日朝に整理券を配布します。詳しくは年会WEBサイトをご覧ください。

問合せ先：日本化学会 企画部 美園 康宏

電話(03)3292-6163

E-mail: misono@chemistry.or.jp

JACI(新化学技術推進協会) 特別企画 ～化学産業から学生に伝えたい キャリアパスガイダンス/ 企業で活躍するために～

主催：JACI(新化学技術推進協会)、日本化学会産学交流委員会
人材交流小委員会

日時：3月26日(木) 10時～17時

会場：S7会場(14号館3階1431教室)

JACIでは、将来の化学産業を担う人材の育成を目的として、大学生・大学院生を対象にキャリアパスガイダンスを実施しています。これは、企業の第一線で活躍する研究者やマネージャーが化学産業の現状や企業での仕事・働き方、企業が求める人材像を学生に伝えることで、化学産業界で働くことの楽しさや意義を理解し、将来そこで活躍するために何を学べばよいかを気づききっかけとなることを狙いとしています。本企画では、これまで特定大学で限定的に実施してきたキャリアパスガイダンスを全国から募集される学生や大学関係者に知っていただき、多くの学生が自らのキャリアパスや学びの意義を考える一助になればと考えています。昨季まで博士人材を対象に実施してきた「博士セミナー」の内容も盛り込んで、学部学生から博士前期・後期課程の大学院生、ポストドクターまで、化学企業を目指す学生の皆様にとっては大変有益な得難い時間となるでしょう。学生の皆様はもちろん、産学連携による人材育成に興味をお持ちの大学関係者や企業関係者の皆様も、是非ご参加下さい。

プログラム

10:00- 今、なぜ博士が必要か(東レ 研究・開発企画部)長瀬 公一

10:40- 博士課程での1年間～学ぶこと・感じること・思うこと～

(早大先進理工D1)加藤 遼

11:00- 私の博士課程の過ごし方(農工大院工D3)鶴巻 見子

11:20- パネルディスカッション「博士でしか得られないもの」

司会：朝日 透(早大先進理工)

パネラー：長瀬 公一(東レ)、加藤 遼(早大先進理工D1)、鶴巻 見子(農工大院工D3)、蒲池 晴美(昭和電工 総務・人事部)

野口 宙幹(BASF ジャパン 尼崎研究開発センター バッテリー材料研究所)、中村 暢文(農工大院工)

13:00- 将来の化学産業を支える企業人となるために(富士フィルム R&D 統括本部長・日本化学会副会長)浅見 正弘

14:00- JACI キャリアパスガイダンスの紹介(JACI 人材育成部会長・三井化学 R&D 管理部長)青木 伸一

14:20- 企業研究者としての私の働き方(宇部興産 医薬研)小森 健一

14:50- 化学と私の十余年(三菱化学科学技術研究センター 無機系機能材研)池宮 桂

15:30- パネルディスカッション「企業の仕事、望まれる人材、大学(院)時代に学ぶこと」

司会：青木 伸一(JACI 人材育成部会長・三井化学)

パネラー：小森 健一(宇部興産)、池宮 桂(三菱化学科学技術研究センター)、富ヶ原 祥隆(住友化学人事部)、安藤 慎治(東工大院理工)、宮野 哲也(阪大院工D1)

参加費：無料(年会登録者に限る)

申込方法：事前申込不要。直接会場へお越し下さい。

問合せ先：新化学技術推進協会 南 孝幸

電話(03)6272-6887

E-mail: minami@jaci.or.jp

人工光合成研究の最前線： JSTさきがけ「光エネルギーと 物質変換」領域研究成果報告会/ 第5回「フォーラム：人工光合成」

主催：科学技術振興機構(JST)

共催：日本化学会・文科省科研費新学術領域研究

「人工光合成による太陽光エネルギーの物質変換：実用化に向けて異分野融合」

日時：3月26日(木) 9時30分～18時00分
会場：S2会場 (13号館2階1326教室)

東日本大震災に伴う原子力発電所の事故により、我が国のエネルギー政策について抜本的な見直しが行われている昨今、太陽光エネルギーなど自然再生エネルギーの本格的な利用に向けた研究開発が喫緊の課題になっている。平成21年度科学技術振興機構に発足した「さきがけ：光エネルギーと物質変換」研究領域では、太陽光の有効利用の中で最も本質的な課題「光エネルギー／化学エネルギー変換(人工光合成)」に真正面から取り組んでいる。当研究領域では、毎年春季年會会期中に研究成果報告会・シンポジウムを開催しており、昨年名古屋大学で開催された94春季年會では延べ400名を超える参加者を集め好評を博した。今回の成果報告会においても、人工光合成研究の世界的な権威者D. G. Nocera教授(Harvard Univ.)による特別講演のほか、①平成21年度採択5年型研究者ならびに平成23年度採択3年型研究者の研究成果、および5年型研究者の中間成果の口頭発表、②平成21～22年度採択研究者によるポスター発表を行い、さきがけ研究領域の現状と将来展望について議論する。それにより人工光合成研究課題の重要性および研究領域への参画を化学関連若手研究者等に広く情報発信し、化学関連研究者への科学的刺激と更なる研究推進に資することを目的とした。

プログラム

開会挨拶 (JST さきがけ「光エネルギーと物質変換」研究総括
首都大人工光合成研究センター長・特任教授) 井上 晴夫

【研究成果発表(口頭発表)】

1. ペプチド折り紙で創る二酸化炭素多電子還元触媒(北里大院理・准教授) 石田 斉
 2. 高効率な二酸化炭素還元を目指した新規光触媒の創製(東京工科大コンピューターサイエンス・講師) 森本 樹
 3. 光によって引き起こされるヒドリド移動反応を利用したエネルギーポンプ系の構築(神奈川大工・特別助教) 松原 康郎
 4. アリールホウ素化合物による化学的光エネルギー変換への展開(長崎大院工・准教授) 作田 絵里
 5. 金属錯体の配位および配位子の機能を利用したCO₂還元触媒の創製(豊田中研・研究員) 佐藤 俊介
 6. カーボンニュートラルエナジーバージョンを目指した層状粘土化合物による水中での二酸化炭素の光還元(京大院工・准教授) 寺村 謙太郎
 7. ナノコンポジット光触媒を用いた反応サイト分離型CO₂固定化系の構築(九工大院工・教授) 横野 照尚
特別講演 The Artificial Leaf (Harvard Univ.) D. G. Nocera
 8. 光励起キャリアの動きとエネルギー制御(豊田大院工・准教授) 山方 啓
 9. ナノ構造体の階層的構造制御による光機能性材料の創製(九大院工・准教授) 伊田 進太郎
 10. 新しい人工光合成系を目指したナノ粒子超構造の構築(京大化研・助教) 坂本 雅典
 11. 様々な光エネルギー変換系における水分子の構造・機能相関解明(分子研・准教授) 古谷 祐詞
 12. 超高速電子移動のドライビング・フォースと反応場の研究(阪大院基礎工・准教授) 長澤 裕
 13. 新しい時間分解赤外振動分光法を用いた複雑な光エネルギー変換過程の解明(東工大院理工・研究員) 恩田 健
 14. 光化学系II複合体の酸素発生反応中心の結晶構造解析(岡山大院自然科学・特任准教授) 梅名 泰史
 15. [Fe]-ヒドロゲナーゼの活性中心鉄錯体の生合成(マックスプランク陸生微生物学研GL) 嶋 盛吾
 16. タンパク質工学的アプローチによる高効率ギ酸生産藻類の設計(信州大農・助教) 伊原 正喜
- 閉会挨拶 (科学技術振興機構)

【研究発表(ポスター発表)】

平成21～22年度さきがけ「光エネルギーと物質変換」研究領域採択研究者20名による発表。詳細はプログラム124ページ参照。

日時：3月27日(金)9時30分～12時00分
会場：日本大学理工学部 理工スポーツホール
参加費：成果報告会・講演要旨集：無料
申込方法：会場に直接お越し下さい。
問合先：192-0397 東京都八王子市南大沢1-1 首都大学東京プロジェクト研究棟302号室 科学技術振興機構さきがけ「光エネルギーと物質変換」研究領域事務所
電話(042)653-3415
E-mail: tamaki@chem-conv.jst.go.jp

【第5回「フォーラム：人工光合成」】

JST さきがけ「光エネルギーと物質変換」領域では、文科省科
研費新学術領域研究「人工光合成による太陽光エネルギーの物質
変換：実用化に向けて異分野融合」と共同で標記フォーラムを開
催しています。このフォーラムでは、人工光合成研究を含む我が
国のエネルギー・環境問題に関連する研究動向や研究の推進体制、
人工光合成関連研究でのトピックス研究などを紹介し、広く産・
学・官の研究者、報道関係者、一般市民の方々と広く討議する場
として、これまで4回開催し好評を得ています。第5回フォーラ
ムは下記日時に予定しています。

日時：3月27日(金) 13時～15時10分
会場：S2会場 (13号館2階1326教室)

プログラム

- ①趣旨説明：人工光合成研究の今、これから
 - ②実用化を視野に入れた企業等における人工光合成研究の最前線、企業等関係発表4件(産総研・パナソニック・豊田中研・東芝)
 - ③パネル討論「未来社会に向けて科学技術に何が求められているか」
- パネリスト：相澤 益男 (JST 顧問)、田口 康 (文科省大臣官房審議室)、福島 洋 (経産省大臣官房参事官)
参加費：無料
申込方法：会場に直接お越し下さい。
問合先：192-0397 東京都八王子市南大沢1-1 首都大学東京プロジェクト研究棟302号室 科学技術振興機構さきがけ「光エネルギーと物質変換」研究領域事務所
電話(042)653-3415
E-mail: tamaki@chem-conv.jst.go.jp

テトラヘドロン受賞シンポジウム

主催：エルゼビア
日時：3月27日(金) 9時30分～12時30分
会場：S9会場 (14号館4階1441教室)

2014年テトラヘドロン賞は、辻二郎名誉教授とBarry Trost教授の共同受賞になりました。また、中尾佳亮教授が日本人として初めてテトラヘドロン若手研究者賞を受賞され、日本にとっては記念すべきダブル受賞になりました。今回、日本人のダブル受賞を記念して、エルゼビア社が年會時に本シンポジウムを企画、開催しますので、多くの皆様のご参加をお願いいたします。

プログラム

09:30- Opening Remarks by Professor Stephen Martin
09:35- Asymmetric Catalysis (Chubu University & University of Chicago) Professor Hisashi Yamamoto
10:15- Complex Natural Products as a Driving Force For Discovery in Organic Chemistry (California Institute of Technology) Professor Brian Stoltz
10:55- [Award Lecture] C-C Bond Forming Reactions by Cooperative Metal Catalysis (Kyoto University) Professor Yoshiaki Nakao
11:35- Award Ceremony of the Tetrahedron Prize
11:45- [Award Lecture] Dawn of Organopalladium Chemistry in Early 1960's and Retrospective Overview of the Research on Palladium-Catalyzed Reactions (Tokyo Institute of Technology) Honorary Professor Jiro Tsuji
12:25- Closing Remarks by Professor Stephen Martin
参加費：無料
申込方法：事前申込不要。直接会場にお越し下さい。
問合先：京都大学理学研究科化学専攻 丸岡 啓二
〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
電話(075)753-4041
E-mail: maruoka@kuchem.kyoto-u.ac.jp

Lectureship Award MBLA 10周年記念特別講演会

主催：公益財団法人有生命科学振興国際交流財団
共催：日本化学会
日時：3月29日(日) 9時30分～12時30分

会場：S2 会場（13 号館 2 階 1326 教室）

Lectureship Award MBLA は、日本の合成化学分野における若手研究者の独創性を喚起し、優秀な人材を育成することを目的に設立された賞である。受賞者による欧米一流研究機関を巡る講演ツアーを通して、日本の優秀な若手の化学研究者を世界的に visible にすると同時に、海外のトップレベルの研究者とのネットワークを構築することに大きく貢献してきた。10 名の受賞者は次世代研究者の目標であり、本会に集う若手研究者に大いなる刺激を与える存在である。本会が合成化学分野の最先端研究を知るだけでなく、国際性の重要さと人材育成の方向性を再確認する絶好の機会となることを願う。

プログラム ※講演は英語で行います

- 09:30- Opening Remarks 山本 尚 先生（中部大）
09:40- 浦口 大輔（名大院工）Catalysis of Chiral Aminophosphonium Salts
09:55- 鷹巣 守（阪大院工）Catalytic Transformations of Strong s-Bonds: Recent Findings
10:10- 新谷 亮（東大院工）Catalytic Asymmetric Synthesis of Silicon-Stereogenic Organosilanes
10:25- 松永 茂樹（東大院薬）
C - C B o n d - F o r m i n g Reactions under Proton-Transfer Process from Asymmetric Catalysis to C-H Functionalization-
10:40- 中尾 佳亮（京大院工）Cross-coupling Reactions by Cooperative Metal Catalysis
10:55- Break（10 分）
11:05- 大森 建（東工大院理工）Control of Atropisomerism, Enabling Efficient Synthetic Access to Natural Products
11:20- 伊丹 健一郎（名大 ITbM）Catalysis for Carbon Materials and Plant/Animal Biology
11:35- 寺尾 潤（京大院工）Synthesis of Functionalized Insulated Molecular Wire Directed toward Molecular Electronics
11:50- 金井 求（東大院薬）Artificial Epigenetics For Catalysis Medicine
12:05- 井上 将行（東大院薬）Radical-Based Approach for Synthesis of Complex Natural Products
12:20- Closing Remarks

参加費：無料

申込方法：万有財団 Web よりお申込み下さい。http://www.banyu-zaidan.or.jp/
問合せ先：公益財団法人万有生命科学振興国際交流財団 〒 102-8667 千代田区九段北 1-13-12 北の丸スクエア
電話 (03) 6272-1098
E-mail: banyu_zaidan@merck.com

Reaxys Prize Club ランチョン セミナー

主催：エルゼビア・ジャパン株式会社
日時：3 月 28 日（土） 11 時 30 分～13 時 30 分
会場：S6 会場（14 号館 2 階 1424 教室）

プログラム

特別講演 分子世界と実世界を結ぶ道（東京大学大学院理学系研究科化学専攻教授）中村栄一先生
Reaxys Prize Club メンバーによる講演
機能分子の自在修飾を指向した遷移金属触媒を用いる芳香環コアのアミノ化（名古屋大学物質科学国際研究センター助教）村上 慧先生
カーボンナノチューブの内部空間を利用した新物質創製（名古屋大学物質科学国際研究センター助教）大町 遼先生
分子の集合と多面体：自己集合の幾何学的制御（東京大学大学院工学系研究科応用化学専攻助教）藤田 大士先生

参加費：無料

申込方法：当日の朝、10 時より総合受付付近にて整理券を配布いたします。
問合せ先：〒 106-0044 港区東麻布 1-9-15 エルゼビア・ジャパン株式会社 磯辺 隆
電話 (03) 5561-5034
E-mail: jp.corporate@elsevier.com
ご案内：ブースも出展いたします。